

実践地域	東みよし町（三好中学校区・三加茂中学校区）
<p data-bbox="188 277 1241 344">1 本年度の研究テーマ 「チェーンスクール」に関する具体的な調査研究 ー東みよし町教育推進会議6部会の活動を通してー</p> <p data-bbox="188 376 408 412">2 取組の内容</p> <p data-bbox="188 416 1401 542">今年度は東みよし町教育推進会議を従来の「幼小中一貫教育部会」「外国語部会」「SWPBS部会」「情報教育部会」の4つの研究部会に加え、本町の児童生徒の課題である体力向上に取り組むため、新たに「体力向上部会」「健康教育部会」を加えて6部会とした。幼小中教員が連携して各部会の課題研究に取り組み、その結果を2つの学園で共有しながら本事業の推進に取り組んだ。</p> <p data-bbox="197 546 606 577">(1) 幼小中一貫教育部会の取組</p> <p data-bbox="188 582 1050 900">今年度も、「中1ギャップ」の解消を図るため、小学6年生が給食を含め丸1日中学校生活を体験する活動を各学期1回計3回実施した。部会で事前検討会を実施し、日程等の打合せを行った。内容としては①中1との意見交換会②中学校教員による授業③小学校同士の交流会④小学校担任の授業(中学校教員が参観)⑤養護教諭、スクールカウンセラーによる心の授業⑥生徒会選挙の観覧である。今年度は新たに、中学校教員による授業において、2つの小学校一緒に体育科のダンスを行い、交流を深めた。「早く他校の子と一緒にのクラスになりたい」「中学校へ入学するのが楽しみ」「中学校の先生もおもしろい」といった前向きな意見が多く聞かれ、安心して中学校へ入学することができるための有意義な機会となった。</p>  <p data-bbox="197 936 494 967">(2) 外国語部会の取組</p> <p data-bbox="188 972 1401 1097">各学期に1回部会を開き研修、情報交換、協議を行った。GIGAスクール事業や国際交流活動についての情報交換、小中連携版「CAN-DOリスト」の見直しを行った。また小学校英語の教科化による課題を、小学校教員間での協議や中学校教員の専門的立場からの助言で問題点を解決することができた。</p> <p data-bbox="197 1133 478 1164">(3) SWPBS部会の取組</p> <p data-bbox="188 1169 1401 1294">今年度も部会を3回開催し、各校での取り組みの紹介、経過報告、成果を発表し合った。各校でもSWPBSの校内研修を実施し、講師を招いて研修と実践についての相談を行った。ポジティブな行動支援の手法を生かした授業づくりについて研修を行い、児童生徒がSWPBSを9年間継続し、自己有用感や自己肯定感を持つことができるように取り組んでいきたい。</p> <p data-bbox="197 1330 520 1361">(4) 情報教育部会の取組</p> <p data-bbox="188 1366 1401 1456">今年度は部会を2回開催し、11月に足代小学校でのEdTech活用推進事業の公開授業に向けて協議を行った。また、2年目を迎えたGIGA端末の活用について各校の実施状況を報告し、またコロナ禍のオンライン授業やタブレット持ち帰り学習についても情報交換を行った。</p> <p data-bbox="197 1491 520 1523">(5) 体力向上部会の取組</p> <p data-bbox="188 1527 1401 1617">今年度は部会を3回開催し、児童生徒の体力向上につながる授業での取り組みを考え、実践し情報を共有した。また、小学校で体育の公開授業を行い、小中での連携を図った。生徒に運動についてのアンケートを行い、運動が好きになり、自ら運動に取り組む対策を協議した。</p> <p data-bbox="197 1653 520 1684">(6) 健康教育部会の取組</p> <p data-bbox="188 1688 1401 1814">今年度は部会を5回開催し、食育や健康教育の指導方法の工夫改善を行い、肥満傾向の児童生徒の減少に取り組んだ。町内共有フォルダを作成して各校での取組を共有した。また、栄養教諭を講師に招き、血管模型の紹介と活用についての講演を行い、肥満による健康上の問題点をわかりやすく指導する方法について学んだ。</p> <p data-bbox="188 1850 504 1886">3 研究の成果と課題</p> <p data-bbox="188 1890 1401 2042">それぞれの部会での取組も3年目を迎え、小中教職員の連携がスムーズにできるようになった。また、新しく設置した2つの部会においても、本町の課題解決のための対策を協議し共有することができ、9年間を通して取り組んでいく体制を作ることができた。今後も小中教職員が9年間で児童生徒を育成していくという意識を持つことが重要であり、小中教職員の連携は不可欠である。来年度もPDCAサイクルを循環させ、小中の連携を深めていきたい。</p>	